

令和5年度 事業報告

事業の概要

新型コロナウイルス感染症の位置づけが、「新型インフルエンザ等感染症（いわゆる2類相当）」としていましたが、本年5月8日から「5類感染症」の分類となったことから、受注件数の増加を見込みましたが、会員の減少、冬季の降雪状況等により、受注件数、就業延人員ともに前年を下回り、契約金額でも前年額を下回りましたが、派遣事業においては、受注件数、契約額ともに昨年度を上回る状況となりました。

会員の拡大と就業機会の創出は、シルバー事業の根幹ととらえ、各種広告などを活用して鋭意取り組んでまいりましたが、残念ながら会員は減少いたしました。

しかし、一定の効果はあったと考えています。

会員の拡大については、シルバー人材センターの最重要課題であり、来年度以降も引き続き重点事項として取り組んでまいります。

また、会員の拡大と人手不足分野における就業機会の開拓を進めるため、高齢者活用・現役世代雇用サポート事業に取り組んできました。

以下、令和5年度の事業実施状況について報告します。

1. 会員の拡大と普及啓発の推進

新聞や市広報、サポート担当職員によるポスティング、出張説明会や臨時説明会の開催、リーフレットの新聞折込み、市産業祭でのチラシ配布など、入会勧誘活動の取り組みを鋭意進め会員の拡大に努めてまいりましたが、残念ながら会員数は前年比3.4%（10名）減で281名となりました。

また、会報「むつみ」を1月に発行し、会員参加の奉仕活動等を掲載したほか、会員からの寄稿などにより紙面の充実を図るとともに、会報を各地区の公共施設へ配布してセンター事業のPRに努めました。

さらに、会員間の交流と会員拡大を目的として、窓拭き講習会、健康体操教室、ごま餅づくり講座、調理講座、郷土のお菓子を楽しむ体験交流会を開催し、延べ50名の参加がありました。また、急速にデジタルが進んでいる状況を踏まえ、会員のデジタル化対応として、スマートフォン操作体験講座を6月から本年3月までの間

で、月2回開催し、延べ93名の参加がありました。

各種講座等につきましては、概ね好評であったことから、講座内容や開催時期等を検討しながら、来年度も引き続き開催してまいります。

2. 受注の拡大と就業率の向上

受注拡大については、新聞、市広報への広告掲載やサポート担当職員等による就業先確保の取り組みを強化したほか、就業開拓チラシの配布などにより新たな就業先の開拓に努めてきたところでありましたが、対前年比で受注件数で13.9%減、就業延人員でも11.3%減と前年度を下回り、契約金額でも4.2%減となり、昨年度を下回る残念な結果となりました。

就業向上対策といたしましては、未就業会員の状況を把握するとともに、新規入会会員への優先的な就業先紹介やワークシェアリングの徹底に努めたものの、会員の就業率は93.2%となり、ほとんど昨年度と同様の状況となりました。

3. 安全・適正就業の推進

県連合会主催の安全衛生研修会に参加するなど、職域ごとに安全指導と事故の事前防止に向けた取り組みを実施いたしました。11月には、安全就業委員会を開催し、福祉の雪事業における安全講習会を実施したほか、「安全だより」を年2回発行し、就業中の事故防止とコロナ感染やインフルエンザ予防など感染予防対策など注意喚起に努めました。

更に、不適正就業の根絶のため法令遵守の徹底に努めるとともに、規程等の整備を進めました。また、請負での受注ができない業務については、シルバー派遣事業への切り替えを行うなど、適正就業に努めました。

4. シルバー派遣事業の推進

派遣業務につきましては、請負・委任業務からへ切り替えを積極的に行ってきたところですが、新型コロナなどの影響も少なくなり、就業機会確保に向けた担当職員の企業訪問等の実施により、対前年比では契約件数で11件、18.6%の増、就業延人員では、0.4%の微増ではありましたが、契約金額では約3,700千円、13.1%の増

加となりました。

5. 地域社会への貢献

除草ボランティア活動として、6月に上小阿仁地区で役場周辺、8月には合川地区で合川庁舎周辺、阿仁地区では専念寺川原で実施されました。また、9月には役員等による鷹巣駅前周辺での清掃美化ボランティアを実施いたしました。延べ26名の会員の参加を得て、地域社会に貢献する奉仕活動の実施により、シルバー人材センター事業の啓発普及に努めました。

6. 財政基盤の強化

昨年度から事務所等の修繕に備えて、資金の積み立てを行っておりましたが、本年度も積立を継続することができました。

会員の減少傾向が継続し、契約金額の減少が懸念され、インボイス制度の導入による消費税の増額や事務の煩雑など、シルバー財政を取り巻く環境は厳しいものがありますが、事務、事業の効率化に努め、財政の健全化に向けた取り組みを継続してまいります。

7. 主な事業実績

区 分	本 年 度	前 年 度	対 前 年 比
会 員 数	281 人	291 人	96.6 %
就 業 率	93.2 %	93.5 %	99.7 %
受 注 件 数	1,552 件	1,803 件	86.1 %
就 業 延 人 員	23,943人日	26,990人日	88.7 %
契 約 金 額	127,138,418 円	132,743,508 円	95.8 %
派遣労働就業延人員	3,880人日	3,865人日	100.4 %
派遣労働契約金額	32,263,196 円	28,528,492 円	113.1 %